

バイトアプリ等を活用した事例（施設野菜）

【こせど農園（志布志市）】

（令和7年2月）

経営の概要

【経営品目・面積】

- ピーマン55a（ハウス）

【経営の変遷】

- 平成29年に経営開始
- 夫婦2人で23aから開始
- 徐々に規模拡大を進め、55aまで拡大



労働力の現状

- 家族労働力 2人
- 雇用労働力
 - 常時雇用 5人
 - ・農薬散布，機械作業を除く，全般的な作業に従事
 - ・ハローワークやインディードで募集，近隣の市町から従事
 - バイトアプリ（1日農業バイトデイワーク）の活用
 - ・友人からの紹介で利用を開始
 - ・繁忙期を中心に，収穫，定植，糸つり等の作業に従事
 - ・リピーターを中心にスムーズに募集できている。
 - ・県内はもとより，宮崎県からも作業に従事
 - ・中には，車で旅をしながら，働きにきてくれる人もいる。
 - ・働きにくる人は，デイワークで働いたことのある経験者が多い。
 - 障害福祉サービス事業所への委託（農福連携）
 - ・知人の紹介で，隣町の福祉施設との連携を開始
 - ・防草シートはり，わき芽取り等の作業に従事
 - ・秋口～6月頃にかけて，週一で3人程度を依頼

特徴的な取組等

- バイトアプリ関係
 - ・作業開始時に，チェックリストにより，作業の内容や，休憩時間，トイレ場所など，基本的なことを説明
 - ・SNSの活用
 - ・応募を検討中の方が，働く環境や作業内容をイメージしやすくするため，デイワークの紹介文，求人票に，同農園のインスタグラムアカウント名を記載
 - ・雇用主，従業員の作業風景の動画や写真を掲載することで，応募を迷っている方の不安解消の一助になればとの思いから取組
 - ・応募者の多くが，インスタグラムを見てから応募
- 労働全般
 - ・夏場の熱中症対策として，作業時間を午前中だけにしたり，空調服の支給などに取り組み